

数学科（数学I）学 習 指 導 案						
数学科チーム目標：『数学的な誠実さを大切にし、論理とアイデアを楽しむ生徒の育成』						
日 時	令和元年6月5日(水)第1限		指 導 者	井上 唯		
学 級	1年4組		教 室	244教室		
単 元	第3章 2次関数		教 科 書	改訂版 高等学校 数学I (数研出版)		
指 導 目 標	1 定義域に制限がある場合の2次関数の最大値、最小値を求めさせる。		指 導 計 画	1 関数とグラフ・・・・・・・・・・2時間		
	2 グラフが動く場合の最大値、最小値を図示することにより理解させる。			2 2次関数のグラフ・・・・・・・・・・3時間 3 2次関数の最大・最小・・・・・・・・4時間 (本時はその3時間目) 4 2次関数の決定・・・・・・・・・・2時間		
本時の主題	関数の最大・最小と場合分け					
前時の課題	定義域に制限がある場合の最大・最小を図示できるようにしておく。					
目 標	1 定義域に制限があり、グラフが動く場合の最大値、最小値を考えさせる。 2 グループ活動を通して、最大値、最小値が変化する境界を見付けさせる。					
指 導 過 程	学習活動(学習形態)		時間	指導上の留意点	資料・教具等	
	導 入	前時の課題を確認する。	5分	・定義域と軸の位置関係を図示させる。		
	展 開	1	グラフが動く場合の最大値、最小値を求める。	25分		
		軸の方程式を求め、定義域と軸の位置関係を図示する。				
		(1) 定義域と軸の位置関係を図示する。 (個人→グループ) (2) 班での意見を全体で共有する。 (全体)			・最大値、最小値が変わる境界がどこになるか図示させる。	・資料プリント ・カード ・マーカー
	開 閉	どこを境界として最大値、最小値が変化しているか見付ける。				
		(3) 軸の条件を考える。 (グループ→全体) (4) 最大値と最小値を求める。			・不等式の形で書かせる。	
2	定義域全体が動く場合の最大値、最小値を求める。 (グループ→全体)	15分	・定義域と軸の位置関係を図示して考えさせる。			
整 理	1 本時の学びを振り返る。 2 次時の内容を確認する。	5分	・学習内容を確認することで理解を深めさせる。			
評価の 規 準 等	【規準】 定義域と軸の位置関係を図示することができる。＜数学的な見方や考え方＞ 【方法】 ワークシートの記述により確認する。 【規準】 グループ活動を通して、問題に意欲的に取り組むことができる。 ＜関心・意欲・態度＞ 【方法】 グループ活動の取組状況により確認する。					
備 考	普通科 生徒数39名(男子19名 女子20名)					